



MIXING CONSOLE

IM8-40/IM8-32/IM8-24

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manual de instrucciones

Manuale di istruzioni

Руководство пользователя

使用说明书

取扱説明書



English

Deutsch

Français

Español

Italiano

Русский

中文

日本語

EN
DE
FR
ES
IT
RU
ZH
JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源 / 電源コード



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



パワーサプライは、必ず指定のもの(PW8)を使用する。
故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



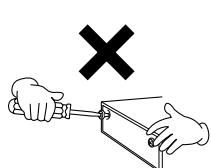
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常ににおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

異常に気づいたら



電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常ににおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



この機器やパワーサプライを落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



設置



この機器を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。
この機器を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この機器が落下して破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



イコライザーやフェーダーをすべて最大には設定しない。
接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



不安定な場所に置かない。
この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



接続



他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。
感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

使用時の注意



スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にパワーアンプの電源を入れる。また、電源を切るときは、最初にパワーアンプの電源を切る。

必ず実行



この機器のパネルのすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止



この機器のパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。
入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止



フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを補給しない。
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなることがあります。

禁止



大きな音量で長時間ヘッドフォン/スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです。(IEC60268 規格に基づいています)
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)

INSERT 端子のフォーンジャックのピン配列は以下のとおりです。
Tip: OUT, Ring: IN, Sleeve: GND

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご注意

- ・取扱説明書の著作権はすべてヤマハ(株)が所有します。
- ・付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- ・巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアが入っているディスクは、オーディオ / 映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。
- ・アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別途ご案内させていただきます。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、音楽データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

- ・Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、ヤマハミキシングコンソール、IM8 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。IM8 の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

特長

- ・ **インプットチャンネル**
マイクからラインレベル機器まで対応する 40 チャンネル (IM8-32 は 32、IM8-24 は 24 チャンネル) のモノラル入力に加え、ラインレベル機器に対応するステレオ入力を 4 系統装備しています。
- ・ **コンプレッサー**
全モノラルチャンネルにコンプレッサーが搭載されています。つまり 1 つでマイクや生楽器 (ギター) などの入力信号のピークを圧縮して、音を歪ませずに全体の音量を上げることができます。
- ・ **AUX SEND フェーダー搭載**
AUX SEND にフェーダーが搭載されていますので、メインミキサーとしてだけでなく、モニター用として個別のミックスを作る場合にも便利です。

付属品

- ・ 取扱説明書 (本書)
* 保証書が本書に記載されています。
- ・ 電源接続ケーブル
- ・ Cubase AI 4 DVD-ROM
- ・ USB ケーブル

目次

はじめに	147
特長	147
付属品	147
動作環境	148
IM8-40/32/24 の違い	148
各部の名称と機能	149
チャンネルコントロール部	149
マスター コントロール部	153
STEREO AUX RETURN セクション	154
2TR IN/USB セクション	154
REC OUT/USB セクション	155
MATRIX OUT セクション	155
DC POWER INPUT セクション	156
MUTE MASTER セクション	156
TALKBACK セクション	156
AUX SEND セクション	157
GROUP OUT セクション	157
STEREO MASTER セクション	158
MONITOR セクション	159
MONO セクション	160
LAMP 端子	160
困ったときは	161
同梱ディスクについて	162
ソフトウェアのご使用条件	163
保証とアフターサービス	164
保証書	165
Specifications	166
Electrical Specifications	166
General Specifications	167
Analog Input Specifications	167
Analog Output Specifications	168
Digital Input/Output Specifications	168
Jack List	169
Dimensional Diagram	170
Track Sheet	172
Block Diagram and Level Diagram	174

動作環境

■ IM8接続時のコンピューターの動作環境

動作環境などの最新情報については、下記の URL をご参照ください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp>

■ Cubase AI 4 の動作環境

最新の動作環境については、下記の URL をご参照ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/smtg/>

IM8-40/32/24 の違い

IM8 には、IM8-40、IM8-32、IM8-24 の 3 モデルあり、モデルごとの違いは以下のとおりです。

・モノラルインプットチャンネル数

IM8-40 に入力可能なモノラルチャンネルの数は 40、IM8-32 は 32、IM8-24 は 24 です。その他のチャンネル（ステレオインプットチャンネル、2TR IN など）の数や構成は共通です。

・LAMP 端子の数

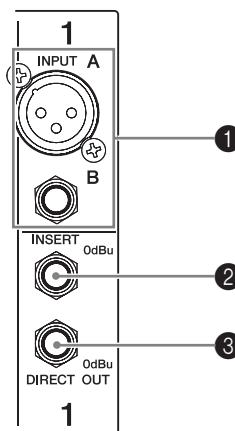
別売のグースネック式のランプ（ヤマハ LA5000 など）を接続可能な LAMP 端子が、IM8-40 には 3 個、IM8-32 と IM8-24 には 2 個搭載されています。

各部の名称と機能

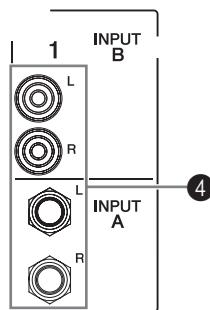
チャンネルコントロール部

・リアパネル

モノラルチャンネル



ステレオチャンネル



ケーブルを本体から抜き差しする場合は、パワーサプライ ヤマハ PW8 の電源をオフにしてください。

① INPUT 端子 (モノラル)

マイクや楽器を接続するモノラル入力端子です。チャンネルごとに 2 種類の端子 (INPUT A/INPUT B) があります。

・ INPUT A 端子

XLR-3-31 タイプのバランス型入力端子です。(1: グラウンド、2: ホット、3: コールド)

・ INPUT B 端子

TRS フォーンタイプのバランス型入力端子です (T: ホット、R: コールド S: グラウンド)。

アンバランス型フォーンプラグを接続することもできます。

NOTE

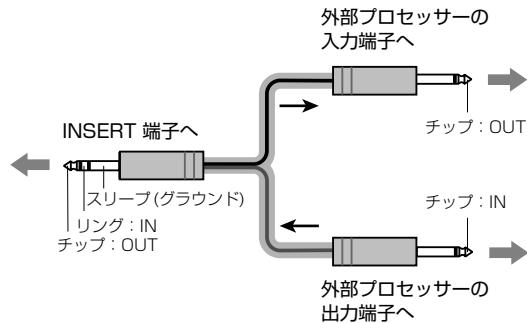
- 1 つのチャンネルで両方の端子を同時に使用することはできません。

② INSERT 端子

各モノラルインプットチャンネルの、コンプレッサーとイコライザーの間に設けられた入出力端子です。お手持ちのグラフィックイコライザーやノイズフィルターなどをチャンネルごとに接続できます。INSERT 端子は、TRS(チップ、リング、スリーブ) 型のフォーン端子を利用した双方向の接続になります。

NOTE

- 接続には、下図のような特殊なインサートケーブルが必要です。別売のヤマハインサートケーブル YIC025/050/070 などをご使用ください。



③ DIRECT OUT 端子

フォーンタイプのインピーダンスバランス型 (160 ページ) 出力端子です。コンプレッサー通過後の信号を出力します。

NOTE

- DIRECT OUT 端子から出力される信号は、内部ジャンパーの設定によりチャンネルフェーダー通過前 (プリフェーダー) またはチャンネルフェーダー通過後 (ポストフェーダー) に変更できます (有償対応)。詳細は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

④ INPUT 端子 (ステレオ)

シンセサイザーなどのラインレベル機器を接続するステレオ入力端子です。チャンネルごとに 2 種類の端子 (INPUT A/INPUT B) があります。

・ INPUT A 端子

フォーンタイプのステレオのアンバランス型ライン入力端子です。

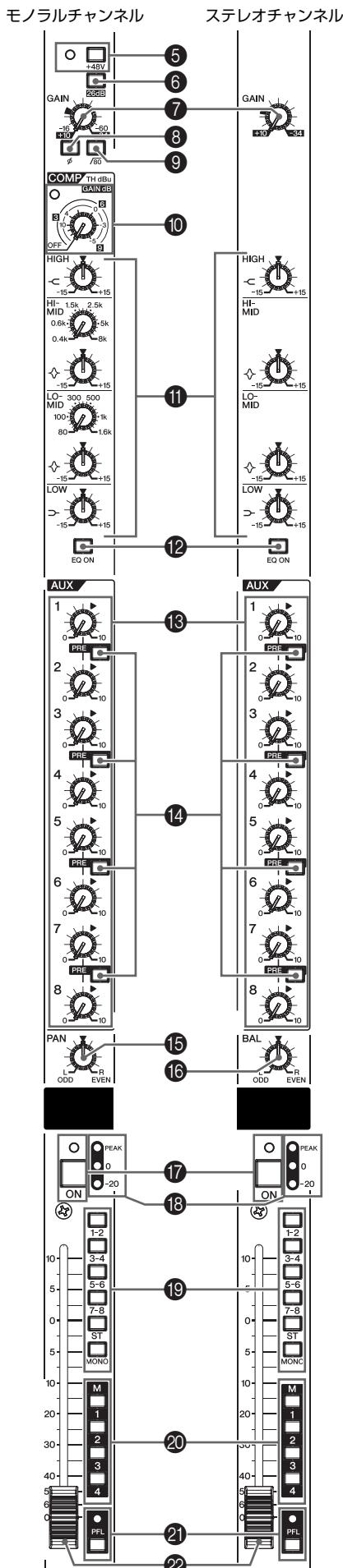
・ INPUT B 端子

RCA ピンタイプのステレオのアンバランス型ライン入力端子です。

NOTE

- 1 つのチャンネルで両方の端子を同時に使用することはできません。

・ トップパネル



⑤ +48V スイッチ / インジケーター

モノラルチャンネルのファンタム電源をオン / オフするスイッチです。スイッチをオンにすると、+48V インジケーターが点灯し、INPUT A 端子の 2 番および 3 番ピンに DC+48 V が供給されます。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。



- ・ ファンタム電源が不要なときは、必ずこのスイッチをオフにしておいてください。
- ・ ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイク以外の機器がモノラルチャンネルの INPUT A 端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクは接続されていても問題ありません。
- ・ スピーカー保護のために、パワーアンプ（パワードスピーカー）の電源がオフの状態で、ファンタム電源をオン / オフしてください。また、STEREO OUT マスター フェーダー、GROUP OUT フェーダーなどの出力コントロールは、すべて最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

⑥ 26dB(PAD) スイッチ

このスイッチをオンにすると、モノラルチャンネルの INPUT 端子からの入力信号が 26dB 減衰します。マイクなど入力レベルの低い機器を接続した場合はオフ（■）、ラインレベルの機器を接続した場合はオン（■）にします。

⑦ GAIN コントロール

INPUT 端子からの入力信号の感度を調整します。モノラルチャンネルには 26dB スイッチ（⑥）があり、調節範囲を変更できます。調整できる感度の範囲は以下のとおりです。

モノラルチャンネル

26dB スイッチ	調節範囲
オン	-34dB ~ +10dB
オフ	-60dB ~ -16dB

ステレオチャンネル

-34dB ~ +10dB

⑧ φ(Phase) スイッチ

このスイッチをオンにすると、入力信号の位相（フェーズ）が反転します。位相のずれた信号をミックスする場合、このスイッチをオンにします。

NOTE

- ・ 位相がずれた状態でミックスすると、信号が干渉し、音やせの原因となります。

⑨ /80 (ハイパスフィルター) スイッチ

ハイパスフィルターのオン / オフを切り替えます。スイッチをオンにするとハイパスフィルターがかかり、80Hz 以下の信号レベルを 12dB/oct のスロープで減衰させます。

⑩ COMP コントロール / インジケーター

コンプレッサーのかかり具合を調節します。COMP コントロールを右に回すと、圧縮効果だけでなく出力レベルも自動的に調整されます。過大入力を圧縮して信号を歪ませずに全体の音圧を上げることができます。コンプレッサーが作動すると、COMP インジケーターが点灯します。

NOTE

- COMP コントロールのレベルを上げすぎると、出力レベルが上がるためハウリングしやすくなります。少し抑えて設定してください。

⑪ EQ(イコライザー : HIGH, HI-MID, LO-MID, LOW)

4 バンドイコライザーで、4 つの帯域 (HIGH、HI-MID、LO-MID、LOW) を調整します。ゲインコントロールを「▼」の位置にすると、フラットな特性となります。ゲインコントロールを右に回すと、その周波数帯域が増幅され、左に回すと減衰されます。また、モノラルチャンネルの HI-MID と LO-MID にはフリケンシーコントロールがあり、基準周波数を調整できます。

各帯域のイコライザータイプ、基準周波数、最大可変幅は以下のとおりです。

モノラルチャンネル

バンド	タイプ	基準周波数	最大可変幅
HIGH	シェルビング	10kHz	± 15dB
HI-MID	ピーキング	400Hz ~ 8kHz	
LO-MID	ピーキング	80Hz ~ 1.6kHz	
LOW	シェルビング	100Hz	

ステレオチャンネル

バンド	タイプ	基準周波数	最大可変幅
HIGH	シェルビング	10kHz	± 15dB
HI-MID	ピーキング	3kHz	
LO-MID	ピーキング	800Hz	
LOW	シェルビング	100Hz	

⑫ EQ ON スイッチ

このスイッチをオンにすると、イコライザーが有効になります。

⑬ AUX コントロール (1 ~ 8)

インプットチャンネルから AUX1 ~ 8 バスに送られる信号のレベルをそれぞれ調整します。ツマミの「▼」(ノミナル) の位置を目安に調整してください。このコントロールで調整する信号は、PREスイッチ(⑭)で決めます。

⑭ PRE スイッチ

AUX バスに送られる信号の取り出し位置を、イコライザー通過後でチャンネルフェーダー調整前 (プリフェーダー) またはチャンネルフェーダー調整後 (ポストフェーダー) に、2 バスごとに切り替えます。このスイッチをオンにするとプリフェーダー信号がAUXバスに送られ、チャンネルフェーダーの影響を受けません。

NOTE

- AUX バスに送られるプリフェーダー信号は、内部ジャンパーの設定によりイコライザー通過前に変更できます (有償対応)。この場合、インプットチャンネルの ON スイッチがオフでも、AUX バスに信号が送られます。詳細は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

⑮ PAN コントロール

モノラルインプットチャンネルの信号を、バスのどの位置に定位させるか調節します。左に回すと定位が GROUP バスの奇数チャンネルまたは ST L バスに移動し、右に回すと GROUP バスの偶数チャンネルまたは ST R バスに移動します。

⑯ BAL コントロール

ステレオチャンネルの左右の音量バランスを調節します。INPUT L 端子に入力された信号は GROUP バスの奇数チャンネルまたは ST L バスへ、INPUT R 端子に入力された信号は GROUP バスの偶数チャンネルまたは ST R バスに送られます。

⑰ ON スイッチ / インジケーター

このスイッチをオンにすると、そのチャンネルが有効になります。インジケーターが点灯します。

NOTE

- ON スイッチがオフになっていても、PFL スイッチ (⑯) をオンにすると、チャンネルフェーダー調整前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

⑱ インプットメーター

インプットチャンネルのイコライザー後の信号レベルを、3 つの LED で表示します。入力信号レベルが -20dB のときに「-20」LED が点灯し、既定レベルで「0」LED が点灯します。また、入力信号がクリッピングの 3dB 手前に達すると、PEAK LED が赤く点灯します。

⑲ パスアサインスイッチ

各チャンネルの信号をどのバスに送るかを決めます。スイッチをオンにすると、該当するバスに信号を出力します。

1-2、3-4、5-6、7-8 スイッチ : 各チャンネルの信号を GROUP1/2 ~ 7/8 バスに出力します。

ST スイッチ : 各チャンネルの信号を ST L/R バスに出力します。

MONO スイッチ : 各チャンネルの信号を MONO バスに出力します。

NOTE

- 信号を各バスに出力するには、チャンネル ON スイッチ (⑯) をオン (■) にしてください。

⑳ MUTE スイッチ (1 ~ 4)

各チャンネルのミュートのオン / オフを 1 ~ 4 番に割り当てます。MUTE MASTER セクションの MUTE マスター スイッチ (1 ~ 4)(156 ページ) をオンにすると、その番号の MUTE スイッチがオンになっているインプットチャンネルがミュートされます。

NOTE

- チャンネルがミュートされると、ON インジケーター (⑯) が消灯します。
- チャンネルがミュートされていても、PFL スイッチ (⑯) をオンにするとチャンネルフェーダー調整前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

② PFL スイッチ / インジケーター

PFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、チャンネルフェーダー調整前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

- ・ PFL スイッチをオンにすると、MONITOR セクション(159 ページ) の PFL インジケーターが点灯します。

③ チャンネルフェーダー

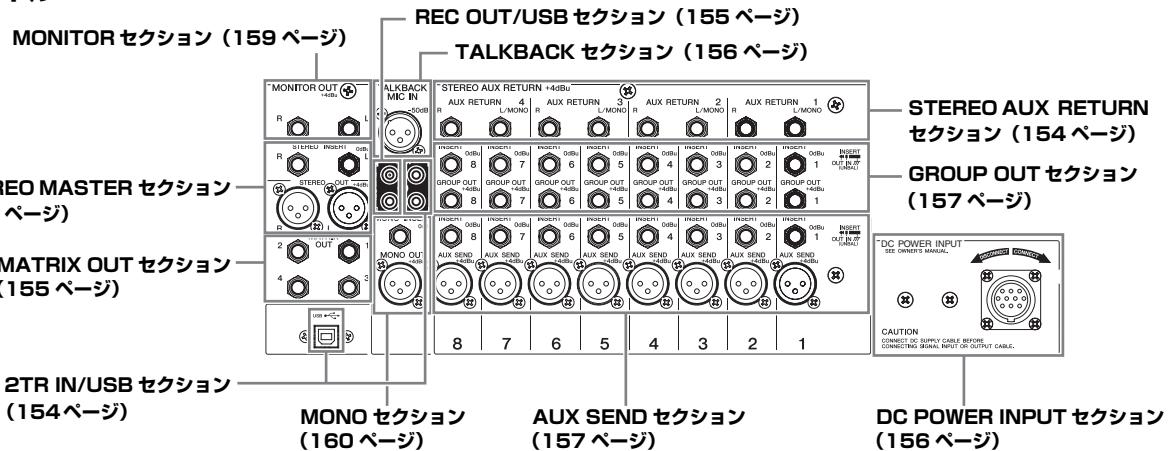
インプットチャンネルの信号の出力レベルを調整し、チャンネル間の音量のバランスを調整します。

NOTE

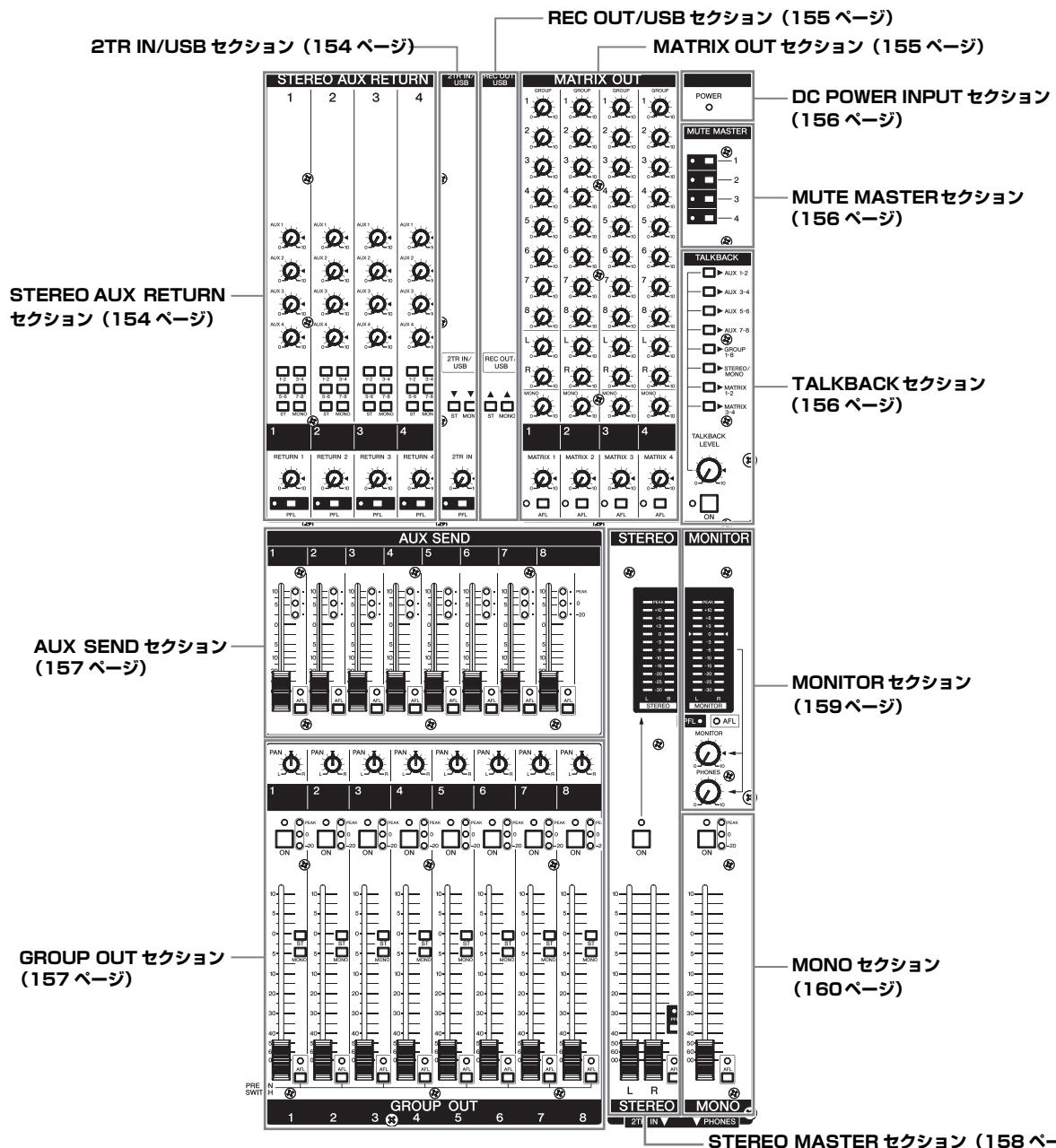
- ・ ノイズ減少のために、使用しないチャンネルのフェーダーは下げてください。
- ・ チャンネルフェーダーは、ST、MONO、GROUP1 ~ 8、AUX1 ~ 8(PRE スイッチオフ時) パスに影響します。

マスター・コントロール部

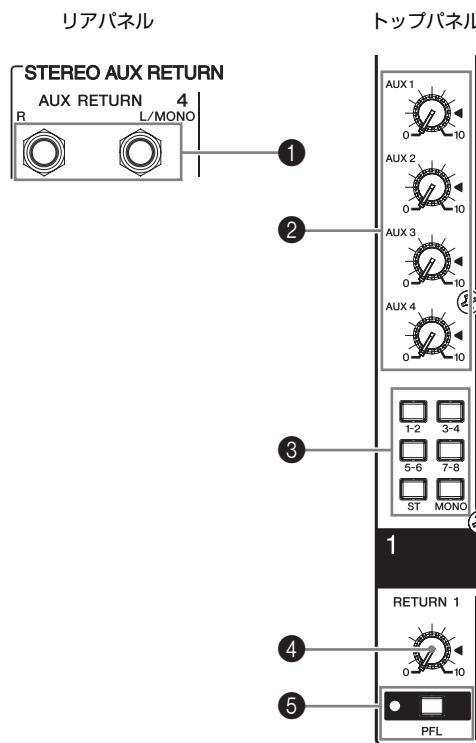
リアパネル



トップパネル



STEREO AUX RETURN セクション



① AUX RETURN 端子

フォーンタイプのアンバランス型ライン入力端子です。この端子から入力された信号は、GROUP1/2～7/8、ST L/R、MONO、AUX1～4バスに送ることができます。MONOとAUX1～4バスへは、L/MONOとRがミックスされた信号が送られます。通常は、リバーブやディレイなど外部エフェクターからのリターン信号を受けるのに使用します。

NOTE

- 補助のステレオ入力としても利用できます。
- L/MONO端子だけに接続した場合は、R端子にもL/MONO端子と同じ信号が流れ、モノラル入力となります。

② AUX コントロール (1～4)

AUX RETURN端子からAUX1～4バスに送られる(L、Rをミックスした)信号のレベルを調整します。つまりの「▼」がノーミナルレベル(0dB)です。

③ バスアサインスイッチ

AUX RETURN端子から入力された信号の出力先を決めます。

- 1-2、3-4、5-6、7-8 スイッチ：GROUP 1/2～7/8バスに送られます。
- STスイッチ：ST L/Rバスに送られます。
- MONOスイッチ：MONOバスに送られます。

④ RETURN コントロール

AUX RETURN端子からGROUP1/2～7/8、STL/R、MONOバスに送られる信号のレベルを調整します。つまりの「▼」がノーミナルレベル(0dB)です。

NOTE

- AUX1～4に送られる信号は、RETURNコントロールの影響を受けません。

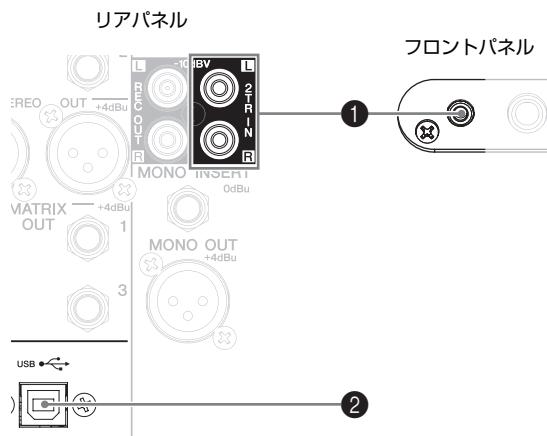
⑤ PFL スイッチ / インジケーター

PFLスイッチをオンになると、インジケーターが点灯し、STEREO AUX RETURNのAUXコントロールおよびRETURNコントロール調整前の信号をMONITOR OUT端子とPHONES端子でモニターできます。

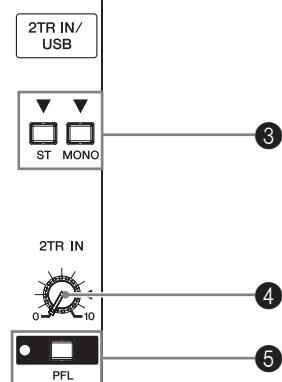
NOTE

- PFLスイッチをオンになると、MONITORセクション(159ページ)のPFLインジケーターが点灯します。

2TR IN/USB セクション



トップパネル



① 2TR IN 端子

ステレオの音源を入力するRCAピン端子と標準ミニフォーン端子(ステレオタイプ)です。お手持ちのCDプレーヤーなどを接続し、ST L/RまたはMONOバスに出力します。

NOTE

- 2TR IN端子(RCAピンタイプ、標準ミニフォーンタイプ)とUSB端子から信号を同時に投入した場合は、信号がミックスされます。

② USB 端子

付属のUSBケーブルを使って、コンピューターに接続し、信号を入出力する端子です。REC OUT端子と同じ信号がこの端子から出力されます。また、この端子から入力された信号は、ST L/Rバス、またはMONOバスに出力されます。



USBケーブルをUSB端子から抜き差しする場合は、2TR IN/USBコントロールを最小にしてください。

USB 端子ご使用時の注意

USB 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。



- USB ケーブルは、AB タイプのものをご使用ください。また、3 メートル以下のケーブルをご使用ください。
- USB 端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスPEND/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、USB 端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。
- 本体の電源オン/オフやUSB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行なってください。

③ バスアサインスイッチ

2TR IN 端子および USB 端子から入力された信号の出力先を決めます。

- ST スイッチ**: ST L/R バスに出力されます。
- MONO スイッチ**: L と R がミックスされた信号が MONO バスに出力されます。

④ 2TR IN/USB コントロール

2TR IN 端子および USB 端子から入力された信号のレベルを調整します。

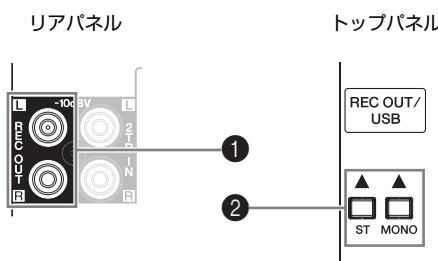
⑤ PFL スイッチ / インジケーター

PFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、2TR IN/USB コントロール調整前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

- PFL スイッチをオンにすると、MONITOR セクション(159 ページ) の PFL インジケーターが点灯します。

REC OUT/USB セクション



① REC OUT 端子

MD レコーダーなどの外部レコーダーを接続し、ST L/R バスまたは MONO バスの信号を録音するための RCA ピン端子です。

NOTE

- この端子から出力される信号は、STEREO OUT マスター フェーダーや MONO フェーダーの設定の影響は受けません。

② バスアサインスイッチ

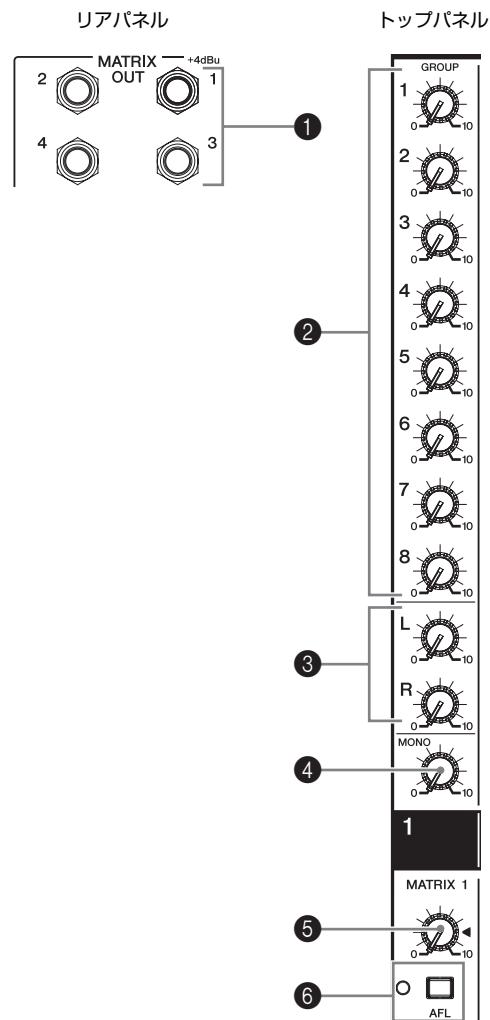
REC OUT 端子および USB 端子に送る信号を決めます。MONO バスの信号を送る場合、REC OUT 端子および USB 端子の L と R に同じ信号が出力されます。

- ST スイッチ**: ST L/R バスの信号が REC OUT 端子と USB 端子から出力されます。
- MONO スイッチ**: MONO バスの信号が REC OUT 端子と USB 端子から出力されます。

NOTE

- ST スイッチと MONO スイッチの両方をオンにすると、ST L/R バスと MONO バスのミックスされた信号が出力されます。

MATRIX OUT セクション



① MATRIX OUT 端子

TRS フォーンタイプのインピーダンスバランス型(160 ページ) 出力端子です。MATRIX OUT セクションの各コントロールで調整された信号を出力します。

② GROUP コントロール (1 ~ 8)

GROUP OUT1 ~ 8 から MATRIX OUT 端子に送られる信号レベルを調整します。

③ ST コントロール (L、R)

ST OUT L/R から MATRIX OUT 端子に送られる信号レベルを調整します。

④ MONO コントロール

MONO OUT から MATRIX OUT 端子に送られる信号レベルを調整します。

⑤ MATRIX マスター コントロール

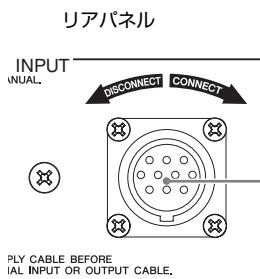
MATRIX OUT 端子に出力する信号全体のレベルを調整します。つまりの「▼」がノミナルレベル (0dB) です。

⑥ AFL スイッチ / インジケーター

AFL スイッチをオンになると、インジケーターが点灯し、MATRIX マスター コントロール調整後の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

- MATRIX マスター コントロール調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

DC POWER INPUT セクション**トッパーパネル****① DC POWER INPUT 端子**

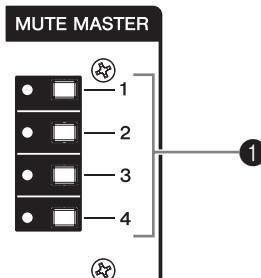
専用の外部パワーサプライ ヤマハ PW8 を、付属の電源接続ケーブルで本体と接続します。



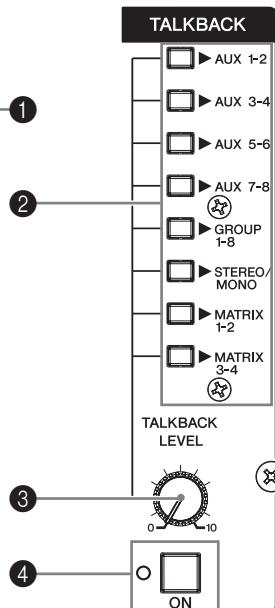
- 電源接続ケーブルを本体から抜き差しする場合は、PW8 の電源をオフにしてください。
- 電源を入れるときにスピーカーから大きなノイズがないよう、音源、PW8、パワーアンプの順に電源を入れてください。電源を切るときは、この逆の順序で行ってください。

② POWER インジケーター

専用の外部パワーサプライ ヤマハ PW8 を本体と接続し、PW8 の電源をオンにすると点灯します。

MUTE MASTER セクション**トッパーパネル****① MUTE マスタースイッチ / インジケーター(1 ~ 4)**

インプットチャンネルのミュートをオン / オフするスイッチです。このスイッチ(1 ~ 4)をオンになると、その番号の MUTE スイッチ(151 ページ)がオンになっているインプットチャンネルがミュートされます。このとき、ミュートされているインプットチャンネルの ON インジケーターは消灯します。

TALKBACK セクション**リアパネル****トッパーパネル****① TALKBACK MIC IN 端子**

トークバックマイクを接続する XLR-3-31 タイプのアンバランス型入力端子です。

② バスアサインスイッチ

TALKBACK MIC IN 端子からの信号の出力先を決めます。

- AUX 1-2、3-4、5-6、7-8 スイッチ: AUX 1/2 ~ 7/8 バスに出力します。
- GROUP 1-8 スイッチ: GROUP 1 ~ 8 バスに出力します。
- STEREO/MONO スイッチ: ST L/R と MONO バスに出力します。

- MATRIX 1-2、3-4 スイッチ : MATRIX1/2、3/4 バスに出力します。

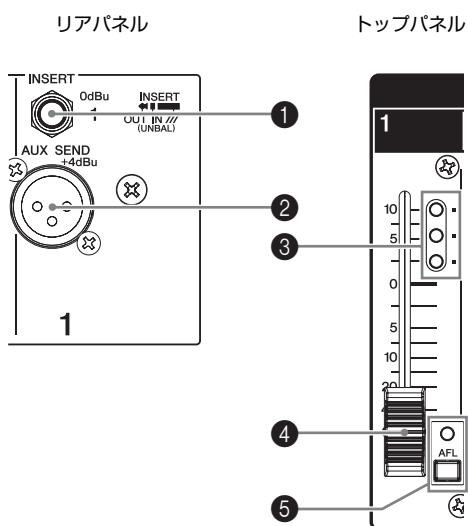
③ TALKBACK LEVEL コントロール

TALKBACK MIC IN 端子から入力された信号のレベルを調整します。

④ ON スイッチ / インジケーター

このスイッチをオンにすると、インジケーターが点滅し、トークバック機能が有効になります。

AUX SEND セクション

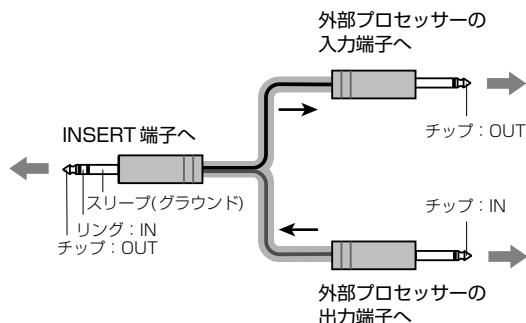


① AUX INSERT 端子

AUX SEND フェーダーの手前に設けられた入出力端子です。お手持ちのグラフィックイコライザーなどを接続できます。この端子は、TRS(チップ、リング、スリーブ)型のフォーン端子を利用した双方向の接続となっています。

NOTE

接続には、下図のような特殊なインサートケーブルが必要です。別売のヤマハインサートケーブル YIC025/050/070などをご使用ください。



② AUX SEND 端子

XLR-3-32タイプのバランス型出力端子です(1: グラウンド、2: ホット、3: コールド)。

モニターシステムや外部エフェクターなどを接続します。

③ AUX SEND メーター

AUX SEND フェーダー調整後の信号レベルを 3 つの LED で表示します。

出力レベルが -20dB のときに「-20」LED が点灯し、既定レベルで「0」LED が点灯します。また、出力信号がクリッピングの 3dB 手前に達すると、PEAK LED が赤く点灯します。

④ AUX SEND フェーダー

AUX SEND 端子に出力される信号のレベルを調整します。

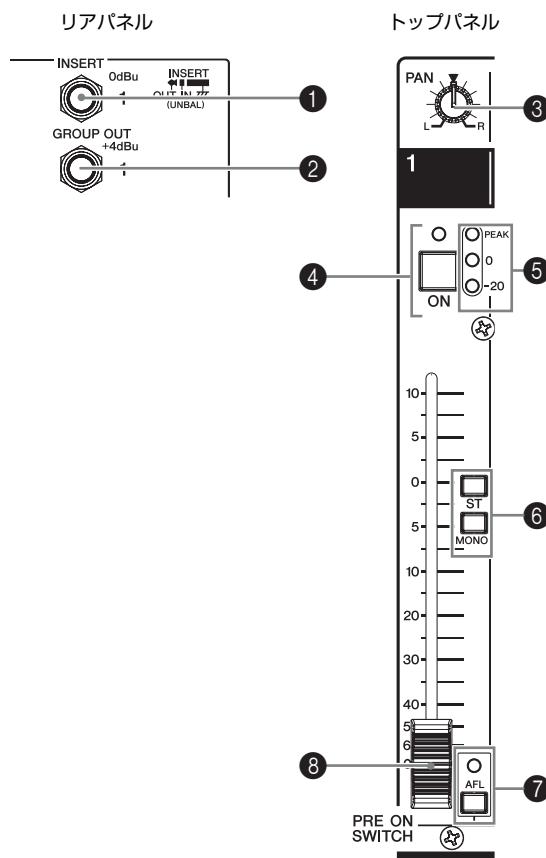
⑤ AFL スイッチ / インジケーター

AFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、AUX SEND フェーダー調整後の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

AUX SEND フェーダー調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

GROUP OUT セクション

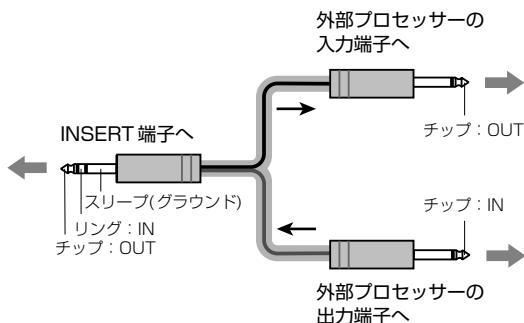


① GROUP INSERT 端子

GROUP OUT フェーダーの手前に設けられた入出力端子です。お手持ちのグラフィックイコライザーなどを接続できます。この端子は、TRS(チップ、リング、スリーブ)型のフォーン端子を利用した双方向の接続となっています。

NOTE

- 接続には、下図のような特殊なインサートケーブルが必要です。別売のヤマハインサートケーブル YIC025/050/070などをご使用ください。

**② GROUP OUT 端子**

GROUP OUT の信号を出力する TRS フォーンタイプのインピーダンスバランス型(160 ページ)出力端子です。MTR や外部ミキサーなどに接続します。

③ PAN コントロール

GROUP OUT から ST L/R バスに送られる信号の位置を調整します。右に回すと定位が右に移動し、左に回すと左に移動します。

④ ON スイッチ / インジケーター

このスイッチをオンにすると、GROUP OUT が有効になります。インジケーターが点灯します。

⑤ GROUP OUT メーター

GROUP OUT フェーダー調整後の信号レベルを 3 つの LED で表示します。

出力レベルが -20dB のとき「-20」LED が点灯し、既定レベルで「0」LED が点灯します。また、GROUP OUT の信号がクリッピングの 3dB 手前に達すると、PEAK LED が赤く点灯します。

⑥ バスアサインスイッチ

GROUP OUT の信号を ST L/R バスおよび MONO バスに出力できます。

NOTE

- GROUP OUT の信号を ST L/R バスまたは MONO バスに出力するには、ON スイッチをオンにしてください。

⑦ AFL スイッチ / インジケーター

AFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、GROUP OUT フェーダー調整後で ON スイッチ前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

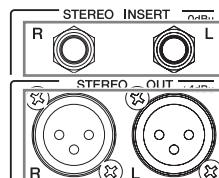
- GROUP OUT フェーダー調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

⑧ GROUP OUT フェーダー

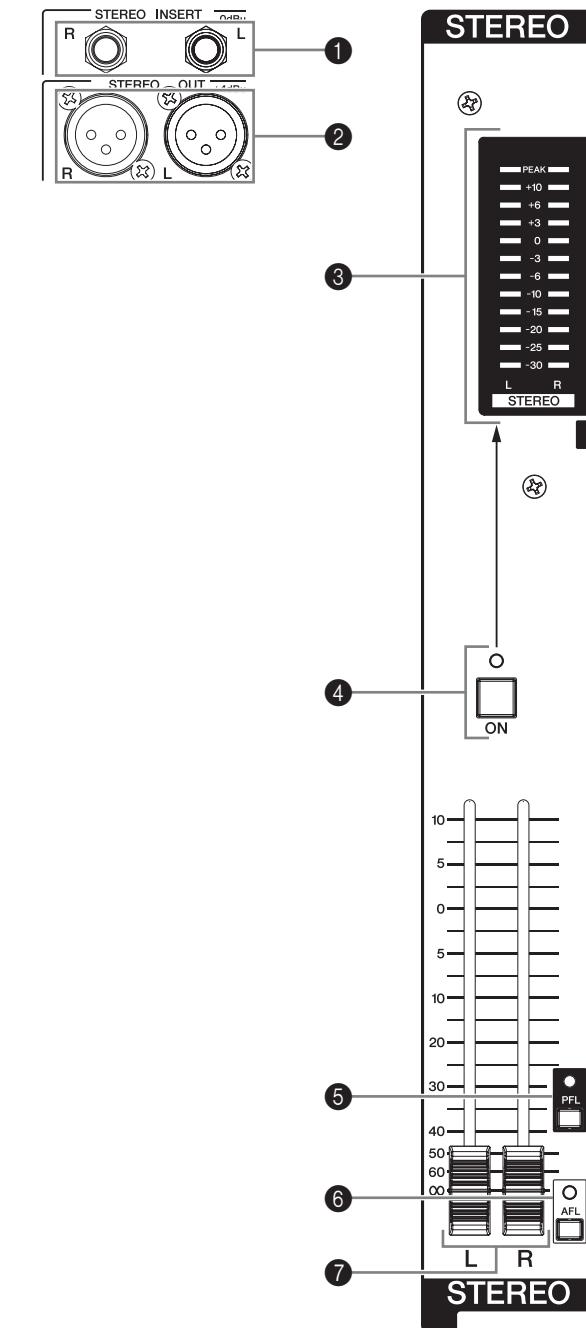
GROUP OUT の信号のレベルを調整します。

STEREO MASTER セクション

リアパネル



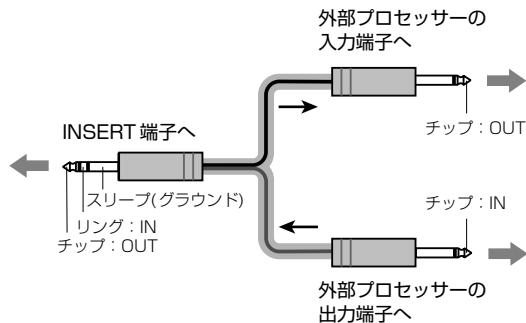
トップパネル

**① STEREO INSERT 端子**

STEREO OUT マスター フェーダーの手前に設けられた入出力端子です。お手持ちのグラフィックマイクライザーやなどを接続できます。この端子は、TRS(チップ、リング、スリーブ)型のフォーン端子を利用した双方向の接続となっています。

NOTE

- 接続には、下図のような特殊なインサートケーブルが必要です。別売のヤマハインサートケーブル YIC025/050/070などをご使用ください。

**② STEREO OUT 端子**

ミックスされた信号をステレオ出力する XLR-3-32 タイプのバランス型出力端子です。STEREO OUT マスター フェーダー(⑦)でレベル調整された信号が 出力されます。メインスピーカーを駆動するパワーアンプなどを接続します。

③ STEREO レベルメーター

STEREO OUT 端子に出力される信号のレベルを LED で表示します。
「0」の位置が規定出力レベルを示し、クリッピングレベルに近づくと PEAK LED が赤く点灯します。

④ ON スイッチ / インジケーター

このスイッチをオンにすると、ST OUT が有効になり、インジケーターが点灯します。

⑤ PFL スイッチ / インジケーター

PFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、STEREO OUT マスター フェーダー調整前の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子(159 ページ)でモニターできます。

⑥ AFL スイッチ / インジケーター

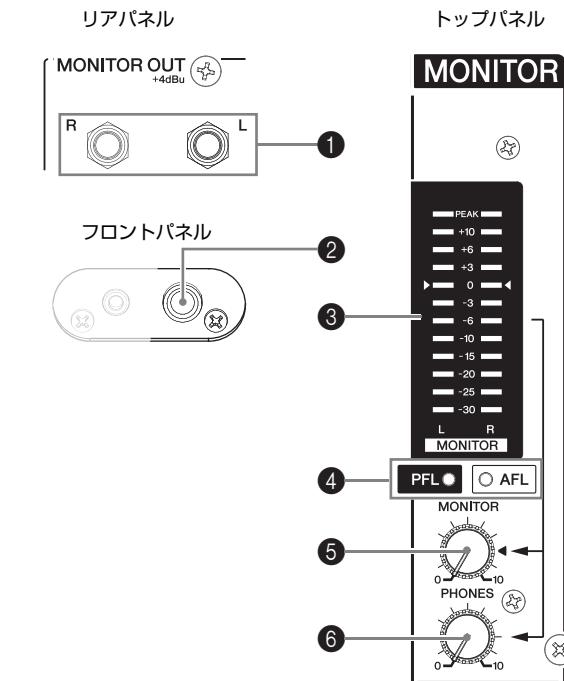
AFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、STEREO OUT マスター フェーダー調整後の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

- STEREO OUT マスター フェーダー調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

⑦ STEREO OUT マスター フェーダー

STEREO OUT 端子に出力される信号のレベルを調整します。

MONITOR セクション**① MONITOR OUT 端子**

モニターシステムなどを接続する TRS フォーンタイプのインピーダンスバランス型(160 ページ)出力端子です。この端子は、各バスのフェーダー調整前またはフェーダー調整後の信号を出力します。出力される信号は、PFL/AFL インジケーター(④)と各セクションの PFL および AFL インジケーターで確認できます。

NOTE

- PFL スイッチと AFL スイッチの両方がオンになっている場合、PFL スイッチが有効になります。フェーダー調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

② PHONES 端子

ヘッドフォンを接続する、ステレオフォーンタイプの出力端子です。MONITOR OUT 端子(①)と同様、各バスのフェーダー調整前またはフェーダー調整後の信号をモニターできます。

③ MONITOR レベルメーター

MONITOR OUT 端子と PHONES 端子に出力される信号のレベルを表示します。
「0」の位置が規定出力レベルを示し、クリッピングレベルに近づくと PEAK LED が赤く点灯します。

④ PFL/AFL インジケーター

MONITOR OUT 端子と PHONES 端子に送られている信号を表示します。フェーダー(コントロール)調整前の信号が送られている場合は、PFL インジケーターが、フェーダー調整後の信号が送られている場合は AFL インジケーターが点灯します。

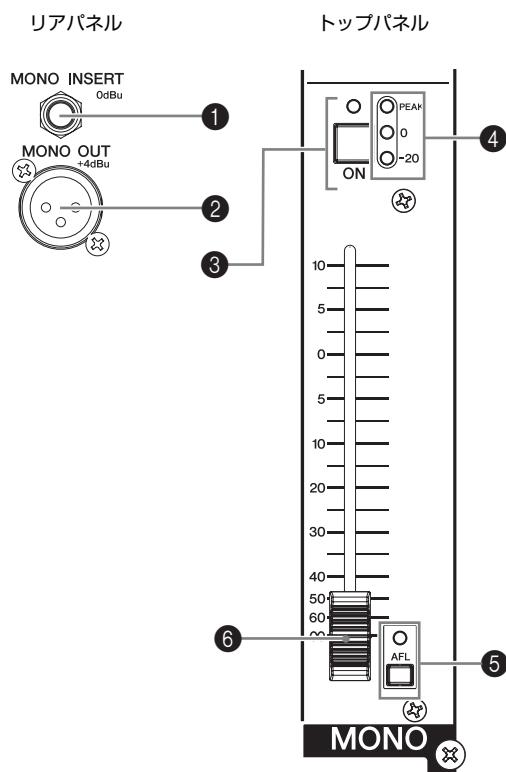
⑤ MONITOR コントロール

MONITOR OUT 端子に出力される信号のレベルを調整します。

⑥ PHONES コントロール

PHONES 端子に出力される信号のレベルを調整します。

MONO セクション

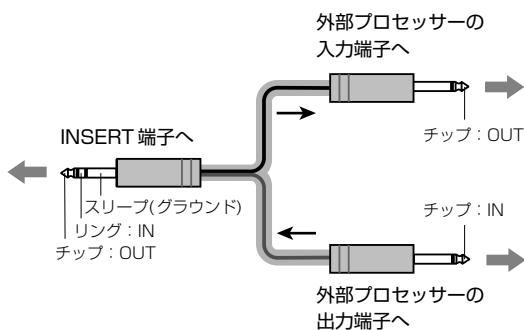


① MONO INSERT 端子

MONO フェーダーの手前に設けられた入出力端子です。お手持ちのグラフィックイコライザーなどを接続できます。この端子は、TRS(チップ、リング、スリーブ)型のフォーン端子を利用した双方向の接続となっています。

NOTE

- 接続には、下図のような特殊なインサートケーブルが必要です。別売のヤマハインサートケーブル YIC025/050/070などをご使用ください。



② MONO OUT 端子

MONO OUT の信号を出力する XLR-3-32 タイプのバランス型出力端子です。

③ ON スイッチ / インジケーター

このスイッチをオンにすると、MONO OUT が有効になります、インジケーターが点灯します。

④ MONO レベルメーター

MONO フェーダー調整後の信号レベルを 3 つの LED で表示します。出力レベルが -20dB のときに「-20」LED が点灯し、既定レベルで「0」LED が点灯します。また、MONO OUT の信号がクリッピングの 3dB 手前に達すると、PEAK LED が赤く点灯します。

⑤ AFL スイッチ / インジケーター

AFL スイッチをオンにすると、インジケーターが点灯し、MONO フェーダー調整後の信号を MONITOR OUT 端子と PHONES 端子でモニターできます。

NOTE

- MONO フェーダー調整後の信号をモニターする場合、すべての PFL スイッチをオフにしてください。

⑥ MONO フェーダー

MONO 端子に出力される信号のレベルを調整します。

LAMP 端子



別売のグースネック式のランプ（ヤマハ LA5000 など）に電源を供給する XLR-4-31 タイプの端子です。IM8-40 には 3 個、IM8-32/24 には 2 個装備されています。

インピーダンスバランス型：

ホットとコールドの出力インピーダンスを同じ値にしてあるため、誘導ノイズの影響を受けにくくなります。

困ったときは

電源が入らない

- 専用のパワーサプライ PW8 は、電源コンセントに正しく接続されていますか？
- 専用のパワーサプライ PW8 は、付属の電源ケーブルで正しく接続されていますか？
付属の電源ケーブルが正しく接続されていないと、PW8 の電源も入りません。
- それでも電源が入らない場合は、取扱説明書（本書）に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

バスドラムの音が前に出てこない

- 位相のずれた信号をミックスしていませんか？
✓ スイッチをオンにして、位相を反転させてみてください。複数のマイクで収音すると、位相がずれて、互いに打ち消すことがあります。

モニター用にイコライザー通過前の信号を AUX バスに送りたい

- 内部ジャンパーの設定を変えることにより、イコライザー通過前の信号を AUX バスに送ることができます。AUX セクションの PRE スイッチは、オン（プリフェーダー）にします。この場合、インプットチャンネルの ON スイッチがオフでも、AUX バスに信号が送られます。

GROUP バスの信号を確認してから ST L/R バスに送りたい

- GROUP セクションの ON スイッチがオフの状態で、GROUP セクションの AFL スイッチをオンすると、ST L/R（およびMONO）バスに信号を送らずに GROUP バスの AFL 信号をモニターできます。

ST L/R バスにはコンプレッサーをかけた信号を、DIRECT OUT 端子には、録音用にコンプレッサーをかけない信号を送りたい

- INSERT 端子にコンプレッサー（外部機器）を接続し、ST L/R バスに送られる信号にコンプレッサーをかけることにより、DIRECT OUT 端子には、コンプレッサー通過前の信号が送られます。この場合、IM8 の COMP コントロールは、OFF に設定します。

TALKBACK 信号をインターラムだけに送りたい

- TALKBACK セクションの MATRIX 1-2（または MATRIX 3-4）スイッチのみをオンにし、MATRIX 1-2（または MATRIX 3-4）の出力をインターラムに送ります。

携帯音楽プレーヤーから BGM を再生したい

- フロントパネルに標準ミニフォーンタイプの2TR IN端子が装備されていますので、ミニプラグケーブルで携帯音楽プレーヤーを接続できます。

MC を MONO バスにアサインして録音もしたい

- MC の入力チャンネルを MONO バスにアサインし、REC OUT セクションのバスアサインスイッチで MONO バスを選択します。

同梱ディスクについて

ご注意

- ・付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- ・以下に付属のソフトウェアのご使用条件が記載されています。付属のソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、付属のソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・付属のソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・付属のソフトウェアのディスクは、オーディオ用ではありません。一般的のオーディオ・ビジュアル用の CD/DVD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ヤマハ株式会社では、付属のソフトウェアについてのサポートは、一切行っておりません。

付属 DAW ソフトウェアについて

同梱のディスクには付属 DAW ソフトウェアが入っています (Windows/Macintosh)。

NOTE

- ・付属 DAW ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限のあるアカウントで行なってください。
- ・付属の DAW ソフトウェアを継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で付属のソフトウェアを起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。
- ・Macintosh の場合は、「.mpkg (拡張子)」のアイコンをダブルクリックしてインストールします。

最新の動作環境については、下記の URL をご参照ください。
<http://www.yamahasynth.com/jp>

サポートについて

付属 DAW ソフトウェアについては、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデータのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

<http://japan.steinberg.net/>

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ (Help) メニュー] から Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいているため、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。

このソフトウェア使用許諾契約は、本製品に同梱している、スタインバーグ社の付属 DAW ソフトウェアに関して、お客様のご使用条件を規定するものです。付属 DAW ソフトウェアをインストールする過程で「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」が表示されますが、その契約書は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えるために、意味のないものです。インストールする際には、その「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」を無視して「同意します」を一律選択し「次へ」をクリックして、次頁（ユーザー登録）に進んでください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権はスタインバーグ社（ドイツ）にあり、弊社は同社からお客様に使用許諾するためのサプライセンス権を得ています。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、製品本体を第三者に譲渡する場合に限り、付属品である本ソフトウェアを使用する権利を、同じ第三者に譲渡することができます。ただし、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、変更、貸貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用 MIDI データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に 1 つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から 14 日間に限り（お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします）、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中止、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知られた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

8. インストール時に表示される契約書

本ソフトウェアをインストールする過程で表示される「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えるために、意味のないものです。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。販売店印、お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この製品の保証期間はお買い上げ日から1年間です。詳しくは保証書をご確認ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご確認ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

消耗部品の例

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態ができるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

●お客様ご相談窓口

アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663
(電話受付=祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00)
ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

●営業窓口

国内営業本部 EKB・LM 営業部 営業推進室

〒 108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-5430

PA 事業部 マーケティング部 PA マーケティンググループ

〒 430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは
TEL 053-460-4830

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、
土曜日 9:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 053-463-1127

◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45

(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒 064-8543 札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒 143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1

京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

名古屋サービスセンター

〒 454-0058 名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫 3F

FAX 052-652-0043

大阪サービスセンター

〒 564-0052 吹田市広芝町 10-28

オーク江坂ビルディング 2F

FAX 06-6330-5535

九州サービスステーション

〒 812-8508 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

出張修理

保証書

品名	MIXING CONSOLE	
※品番		
※シリアル番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間
※お買上げ日	年月日	
お客様	<input type="text"/> - <input type="text"/> ご住所 お名前 電話 ()	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	所在地	印
			()

ヤマハ株式会社 PA事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号

無償修理規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、*ヤマハ修理ご相談センターにお問合せください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、*ヤマハ修理ご相談センターにお問合せください。

* ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Specifications

Electrical Specifications

			MIN	TYP	MAX	UNIT
Frequency Response	STEREO OUT GROUP OUT AUX SEND MONITOR OUT REC OUT	GAIN: min (MONO CH INPUT*, ST CH INPUT 1-4) 20 Hz-20 kHz Nominal output level @ 1 kHz Input: MONO CHs*, ST CHs 1-4, AUX RETURN, 2TR IN	-3.0	0.0	1.0	dB
Total Harmonic Distortion (THD + N)	STEREO OUT	+14 dBu @ 20 Hz-20 kHz, GAIN: min			0.1	%
Hum & Noise <small>Hum & Noise are measured with a 6 dB/octave filter @ 12.7 kHz; equivalent to a 20 kHz filter with infinite dB/octave attenuation.</small>	MONO CH INPUT*	EIN (Equivalent Input Noise) $R_s = 150 \Omega$, GAIN: max			-128	dBu
	STEREO OUT GROUP OUT	STEREO OUT, GROUP OUT faders at nominal level and all CH assign switches off.			-80	dBu
	AUX SEND	AUX SEND faders at nominal level and all CH AUX controls at minimum.			-75	dBu
	STEREO OUT GROUP OUT	STEREO OUT, GROUP OUT faders and one CH fader at nominal level.			-64	dBu
	STEREO OUT	Residual output noise			-98	dBu
Crosstalk (1 kHz)	Adjacent Input	MONO CH INPUT*, GAIN: min			-70	dB
	Input to Output	STEREO OUT L/R, MONO CH INPUT*, PAN: panned hard left or right			-70	dB
Maximum Voltage Gain (1 kHz) <small>All faders and controls are maximum when measured. PAN/BAL: panned hard left or hard right.</small>	Rs = 150 Ω INPUT GAIN: max From MONO CH INPUT*	INSERT OUT (MONO CH) DIRECT OUT (MONO CH) INSERT OUT (STEREO, GROUP, MONO) STEREO OUT GROUP OUT MATRIX OUT REC OUT MONO OUT MONITOR OUT PHONES OUT AUX SEND, PRE AUX SEND, POST INSERT OUT (AUX), PRE INSERT OUT (AUX), POST	60 60 70 84 90 62.2 84 70 79 80 90 66 76			dB
	Rs = 150 Ω INPUT GAIN: max From ST CH INPUT 1-4	STEREO OUT GROUP OUT AUX SEND, PRE AUX SEND, POST		58		dB
				51		dB
				61		dB
	From AUX RETURN	STEREO OUT GROUP OUT AUX SEND		16		dB
				13		dB
	From 2TR IN	STEREO OUT		27.8		dB
	From TALKBACK MIC IN	STEREO OUT GROUP OUT AUX OUT		70		dB

All faders are nominal when measured. (The nominal position is 10 dB lower than the maximum position.)

Output impedance of signal generator: 150 ohms

* IM8-40: 1-40, IM8-32: 1-32, IM8-24: 1-24

General Specifications

Input HPF	MONO CH INPUT*	80 Hz, 12 dB/oct
Input Equalization (+15, -15dB maximum) Turn over/roll-off frequency of shelving: 3dB below maximum variable level.	MONO CH INPUT*	HIGH: 10 kHz (shelving) Hi-MID: 400 Hz-8 kHz (peaking) Lo-MID: 80 Hz-1.6 kHz (peaking) LOW: 100 Hz (shelving)
	ST CH INPUT	HIGH: 10 kHz (shelving) Hi-MID: 3 kHz (peaking) Lo-MID: 800 Hz (peaking) LOW: 100 Hz (shelving)
LAMP IM8-40: 3 pcs, IM8-32/24: 2pcs		XLR-4-31 type, The LAMP voltage is 12 V DC between 3 and 4 pins of XLR-4-31 connectors. Each lamp can use 5 W max.
Signal Indicator	MONO CH INPUT* ST CH INPUT 1-4 INSERT OUT	3 points LED meter (PEAK, 0, -20 dB) PEAK lights if the signal reaches 3dB below the clipping level.
LED Level Meter	Post STEREO OUT fader Pre MONITOR control	4x12 points LED meters (PEAK, +10, +6, +3, 0, -3, -6, -10, -15, -20, -25, -30 dB)
USB Audio	USB IN/OUT	Sampling Frequency = 44.1/48 kHz (depending on the PC application)
Compressor	MONO CH INPUT*	Control x 1 (gain/threshold/ratio)
Dimensions		Height: 219 mm, Depth: 739 mm, Width: 1716 mm (IM8-40), 1471.5 mm (IM8-32), 1227 mm (IM8-24)
Net Weight		51.5 kg (IM8-40), 44.4 kg (IM8-32), 37.8 kg (IM8-24)

All faders are nominal when measured. (The nominal position is 10 dB lower than the maximum position.)

Output impedance of signal generator: 150 ohms

* IM8-40: 1-40, IM8-32: 1-32, IM8-24: 1-24

Analog Input Specifications

Input Connectors	PAD	GAIN	Input Impedance	Appropriate Impedance	Sensitivity*	Nominal Level	Max. before clipping	Connector Specifications
INPUT A (MONO CHs) IM8-40: 1-40 IM8-32: 1-32 IM8-40: 1-24	0	-60 dB	3 kΩ	50-600 Ω Mics	-80 dBu (0.078 mV)	-60 dBu (0.775 mV)	-40 dBu (7.75 mV)	XLR-3-31 type (balanced [1=GND, 2=HOT, 3=COLD])
		-16 dB			-36 dBu (12.3 mV)	-16 dBu (123 mV)	+4 dBu (1.23 V)	
	26 dB	-34 dB			-54 dBu (1.55 mV)	-34 dBu (15.5 mV)	-14 dBu (155 mV)	
		+10 dB			-10 dBu (245 mV)	+10 dBu (2.45 V)	+30 dBu (24.5 V)	
	INPUT B (MONO CHs) IM8-40: 1-40 IM8-32: 1-32 IM8-40: 1-24	0	10 kΩ	600 Ω Mics/Lines	-80 dBu (0.078 mV)	-60 dBu (0.775 mV)	-40 dBu (7.75 mV)	TRS phone jack (balanced [Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND])
		-16 dB			-36 dBu (12.3 mV)	-16 dBu (123 mV)	+4 dBu (1.23 V)	
		-34 dB			-54 dBu (1.55 mV)	-34 dBu (15.5 mV)	-14 dBu (155 mV)	
		+10 dB			-10 dBu (245 mV)	+10 dBu (2.45 V)	+30 dBu (24.5 V)	
INPUT A/B (ST CHs)	-	-34 dB	10 kΩ	600 Ω Lines	-54 dBu (1.55 mV)	-34 dBu (15.5 mV)	-14 dBu (155 mV)	Phone jack (unbalanced) RCA pin jack
		+10 dB			-10 dBu (245 mV)	+10 dBu (2.45 V)	+30 dBu (24.5 V)	
INSERT IN (MONO CHs) IM8-40: 1-40 IM8-32: 1-32 IM8-40: 1-24	-	-	10 kΩ	600 Ω Lines	-20 dBu (77.5 mV)	0 dBu (0.775 V)	+20 dBu (7.75 V)	TRS phone jack (unbalanced [Tip = Out, Ring = In, Sleeve = GND])
INSERT IN (AUX, GROUP, STEREO, MONO)	-	-	10 kΩ	600 Ω Lines	-10 dBu (245 mV)	0 dBu (0.775 V)	+10 dBu (2.45 V)	TRS phone jack (unbalanced [Tip = Out, Ring = In, Sleeve = GND])
AUX RETURN 1-4	-	-	10 kΩ	600 Ω Lines	-12 dBu (195 mV)	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	Phone jack (unbalanced)
2TR IN L/R	-	-	10 kΩ	600 Ω Lines	-26 dBV (50.1 mV)	-10 dBV (0.316 V)	+10 dBV (3.16 V)	RCA pin jack
								3.5 DIA stereo phone jack
TALKBACK MIC IN	-	-	10 kΩ	600 Ω Lines	-66 dBu (0.389 mV)	-50 dBu (2.45 mV)	-30 dBu (24.5 mV)	XLR-3-31 type (unbalanced)

Where 0 dBu = 0.775 Vrms and 0 dBV = 1 Vrms

* Sensitivity is the lowest level that will produce an output of +4dB (1.23 V), or the nominal output level when the unit is set to the maximum level. (All faders and level controls are at their maximum positions.)

Analog Output Specifications

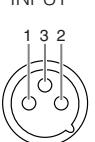
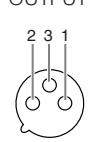
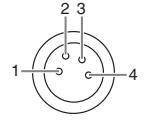
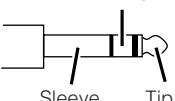
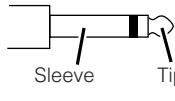
Output Connectors	Output Impedance	Appropriate Impedance	Nominal Level	Max. before clipping	Connector Specifications
STEREO OUT L/R	75 Ω	600 Ω Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	XLR-3-32 type (balanced [1 = GND, 2 = HOT, 3 = COLD])
GROUP OUT 1-8	150 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu (1.23 V)	+20 dBu (7.75 V)	TRS phone jack (impedance balanced [Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND])
AUX SEND 1-8	75 Ω	600 Ω Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	XLR-3-32 type (balanced [1 = GND, 2 = HOT, 3 = COLD])
MATRIX OUT 1-8	150 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu (1.23 V)	+20 dBu (7.75 V)	TRS phone jack (impedance balanced [Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND])
MONO OUT	75 Ω	600 Ω Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	XLR-3-32 type (balanced [1 = GND, 2 = HOT, 3 = COLD])
INSERT OUT (MONO CHs)	150 Ω	10 kΩ Lines	0 dBu (0.775 V)	+20 dBu (7.75 V)	Phone jack (unbalanced [Tip: Out, Ring = In, Sleeve = GND])
INSERT OUT (AUX, GROUP, STEREO, MONO)	150 Ω	10 kΩ Lines	0 dBu (0.775 V)	+20 dBu (7.75 V)	Phone jack (unbalanced [Tip: Out, Ring = In, Sleeve = GND])
DIRECT OUT (MONO CHs)	150 Ω	10 kΩ Lines	0 dBu (0.775 V)	+20 dBu (7.75 V)	TRS phone jack (impedance balanced [Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND])
REC OUT L/R	600 Ω	10 kΩ Lines	-10 dBV (0.316 V)	+10 dBV (3.16 V)	RCA pin jack
MONITOR OUT L/R	150 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu (1.23 V)	+20 dBu (7.75 V)	TRS phone jack (impedance balanced [Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND])
PHONES	100 Ω	40 Ω Phones	3 mW	75 mW	Stereo phone jack

Where 0 dBu = 0.775 Vrms and 0 dBV = 1 Vrms

Digital Input/Output Specifications

Connector	Format	Data Length	Connector Specifications
USB	USB AUDIO 1.1	16 bit	USB B type

Jack List

Input/Output Jacks	Polarities	Configurations
INPUT A (monaural), AUX SEND, STEREO OUT, MONO OUT, TALKBACK	Pin 1: Ground Pin 2: Hot (+) Pin 3: Cold (-)	  XLR-3-31/XLR-3-32 Jack
LAMP	Pin 1: NC Pin 2: NC Pin 3: Ground Pin 4: +12 V	 XLR-4-31 Jack
INPUT B (monaural), GROUP OUT, MATRIX OUT, MONITOR OUT	Tip: Hot (+) Ring: Cold (-) Sleeve: Ground	 Ring
CH INSERT, AUX INSERT, GROUP INSERT, STEREO INSERT, MONO INSERT	Tip: Output Ring: Input Sleeve: Ground	
PHONES	Tip: L Ring: R Sleeve: Ground	 Tip
INPUT A (stereo), AUX RETURN, DIRECT OUT	Tip: Hot Sleeve: Ground	 Phone Jack

English

Deutsch

Français

Español

Italiano

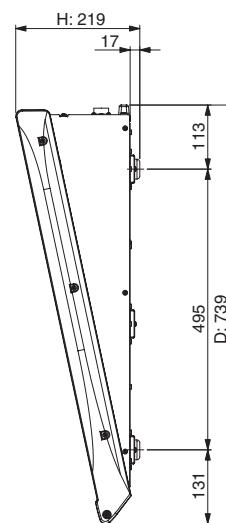
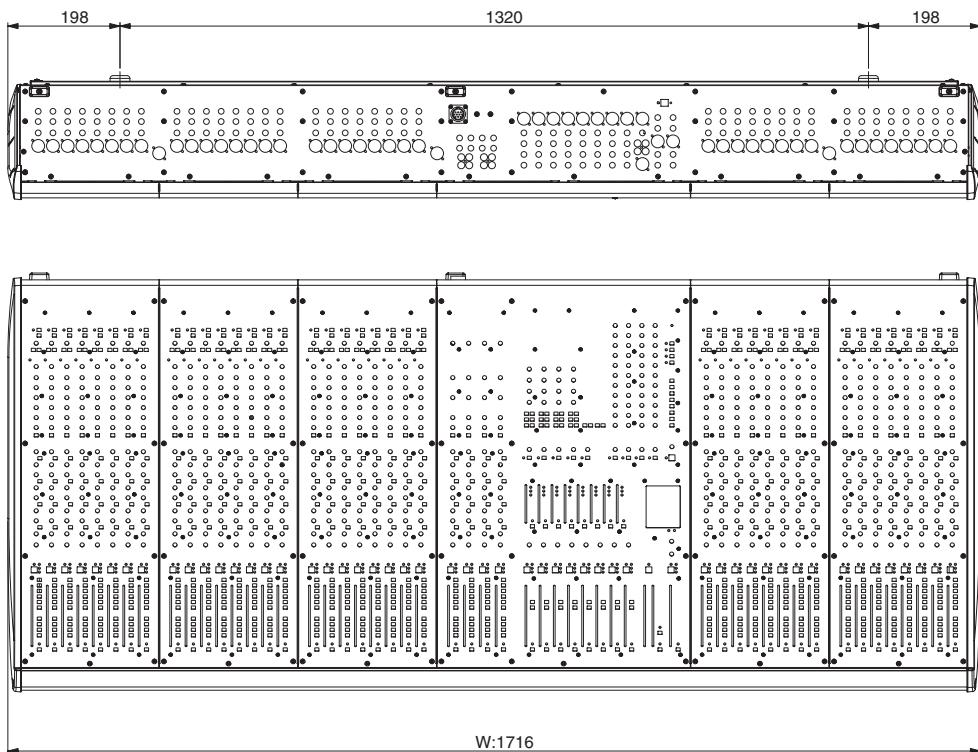
Русский

中文

日本語

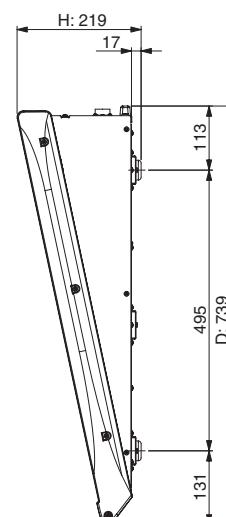
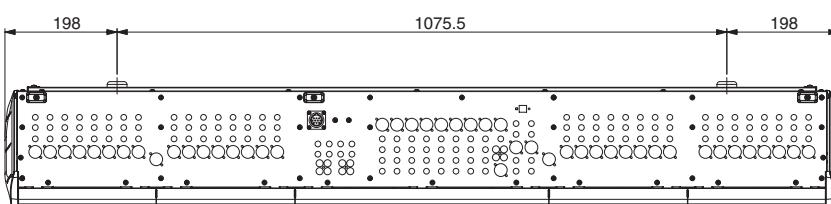
Dimensional Diagram

IM8-40

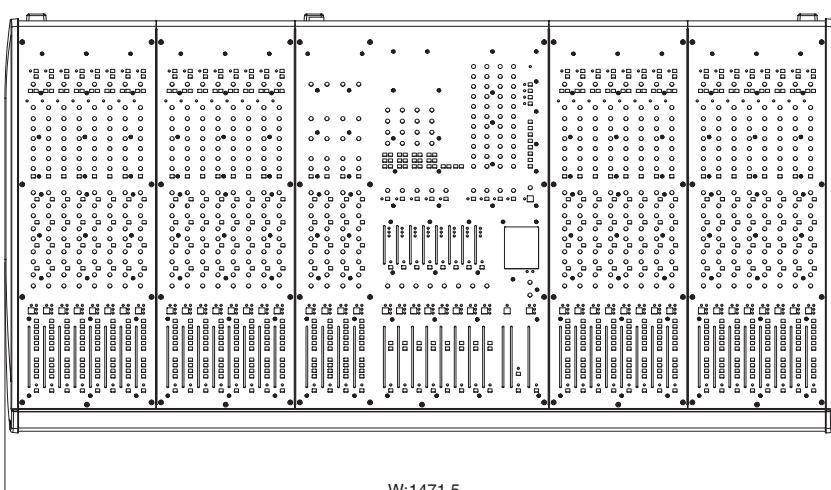


Units: mm

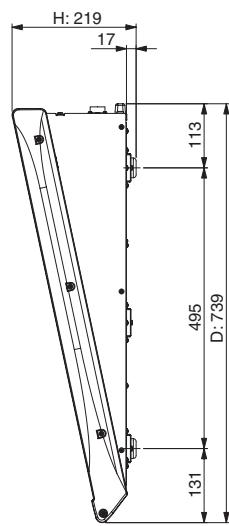
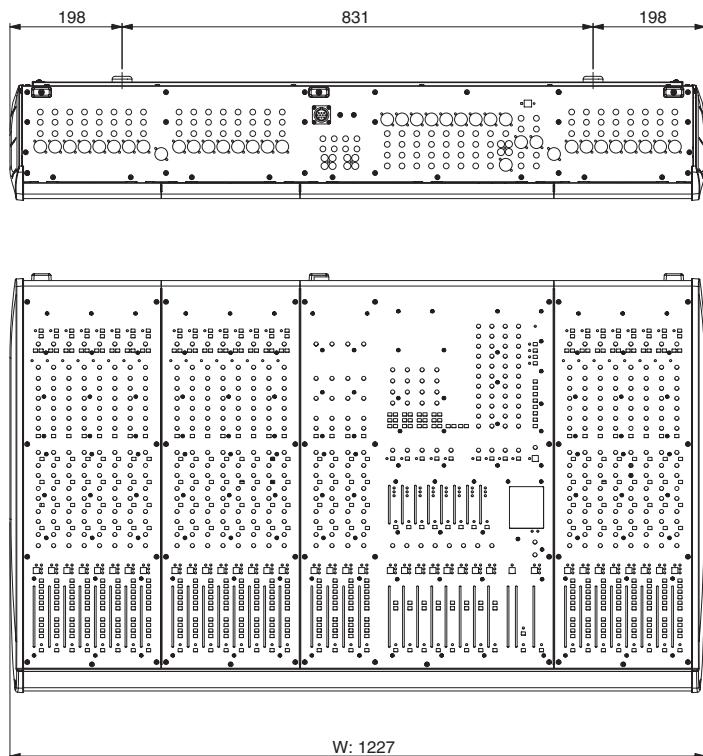
IM8-32



Units: mm



IM8-24



Units: mm

日本語

中文

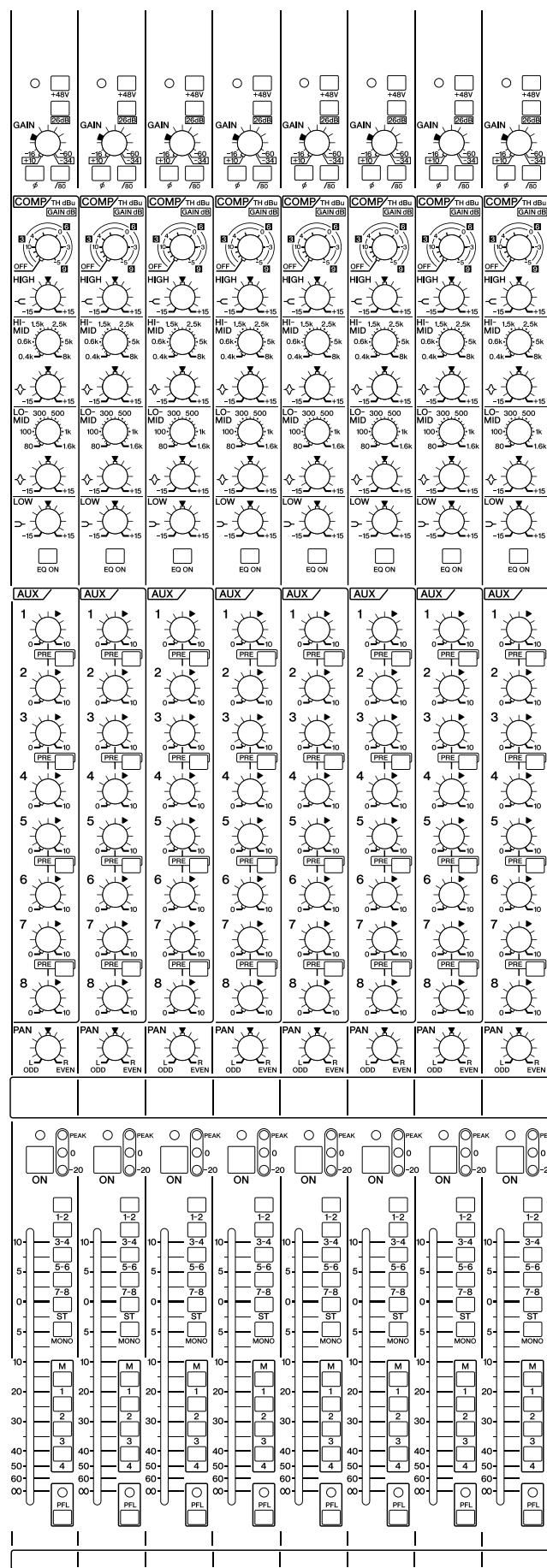
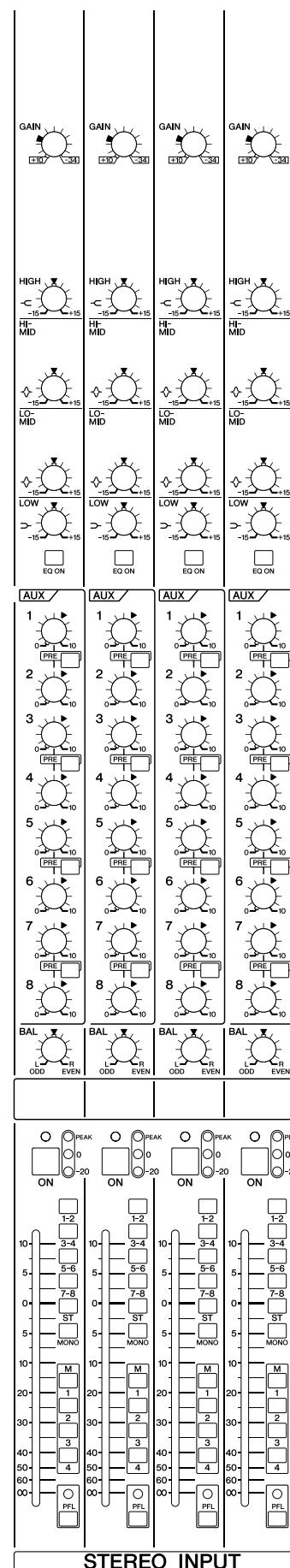
Русский

Italiano

Français

Deutsch

English

Monaural Input**Stereo Input**

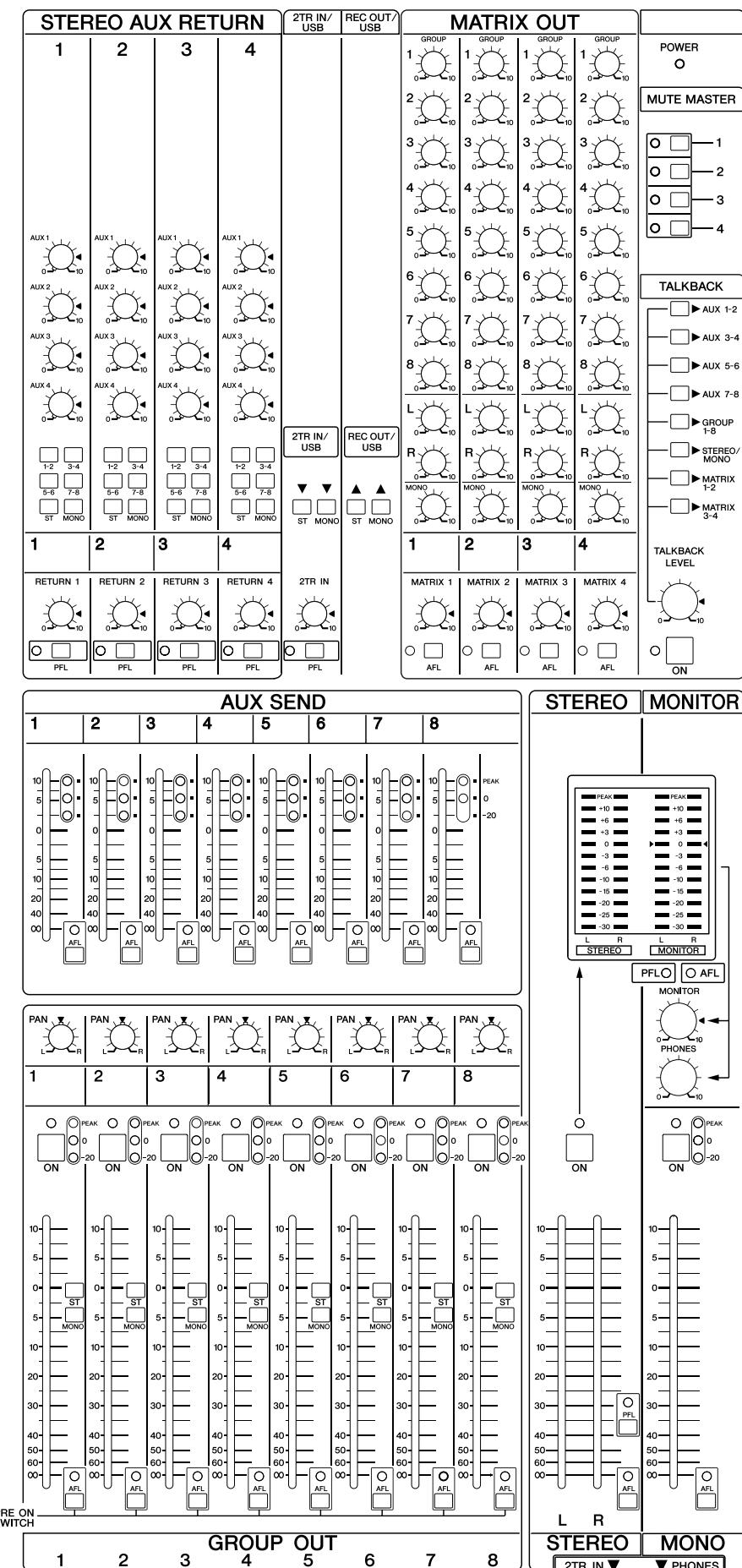
Session Information

Title:

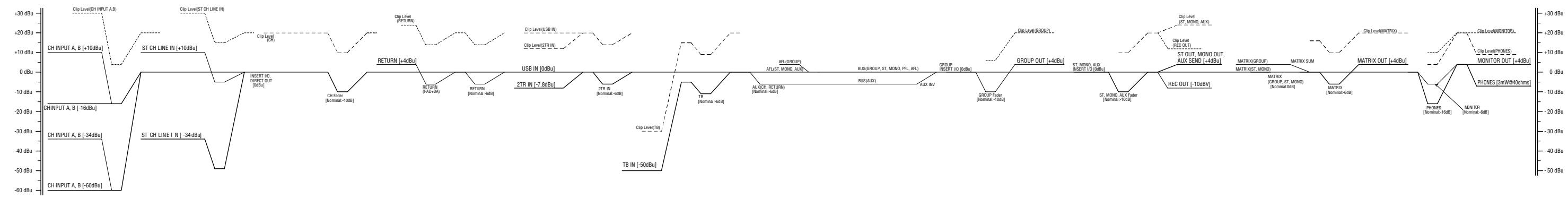
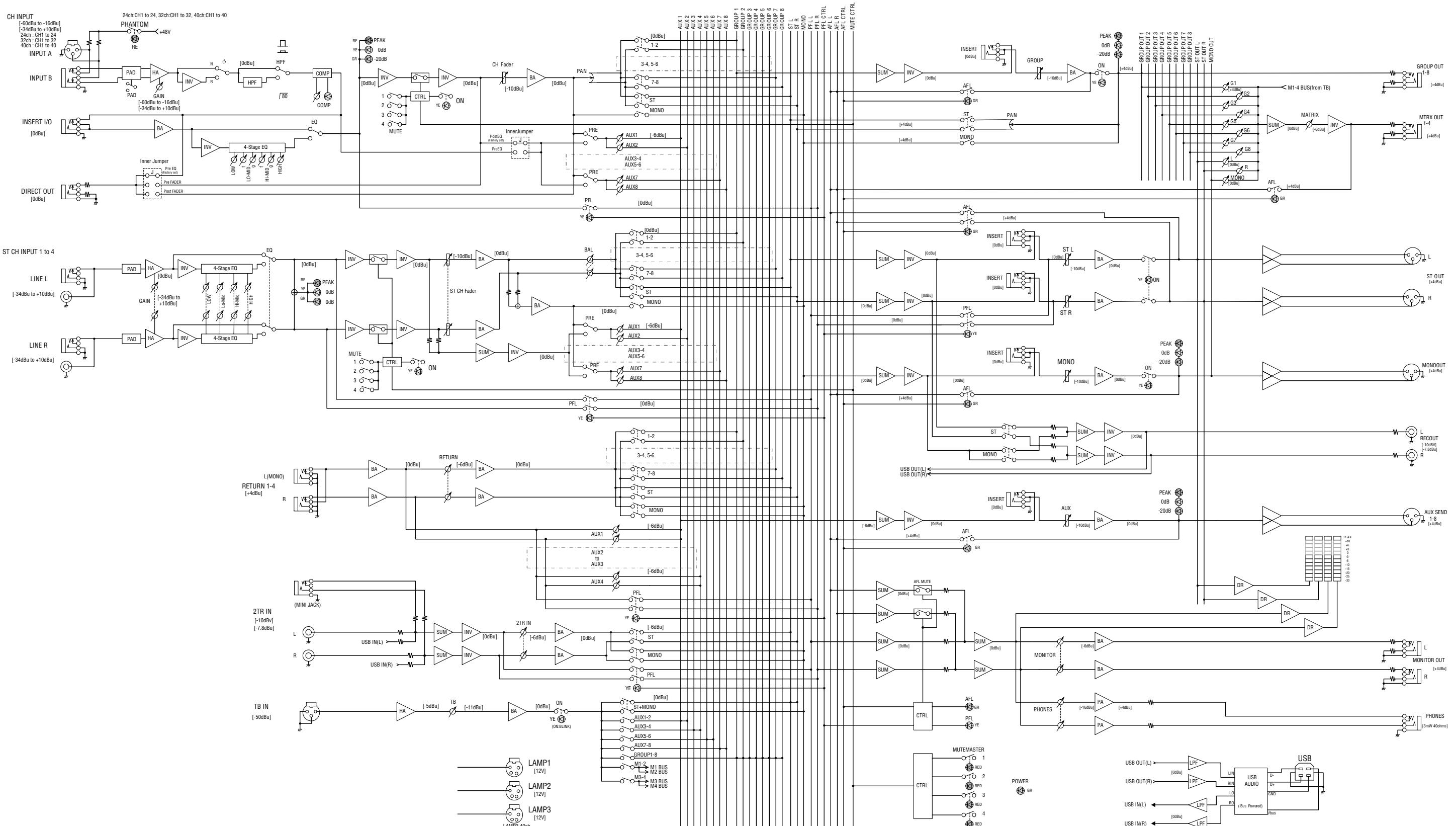
Notes:

Date:

Place:



Block Diagram and Level Diagram



For details of products, please contact your nearest Yamaha representative or the authorized distributor listed below.

NORTH AMERICA

CANADA

Yamaha Canada Music Ltd.
135 Milner Avenue, Scarborough, Ontario,
M1S 3R1, Canada
Tel: 416-298-1311

U.S.A.

Yamaha Corporation of America
6600 Orangethorpe Ave., Buena Park, Calif. 90620,
U.S.A.
Tel: 714-522-9011

CENTRAL & SOUTH AMERICA

MEXICO

Yamaha de México S.A. de C.V.
Calz. Javier Rojo Gómez #1149,
Col. Guadalupe del Moral
C.P. 09300, México, D.F., México
Tel: 55-5804-0600

BRAZIL

Yamaha Musical do Brasil Ltda.
Rua Joaquim Floriano, 913 - 4º andar, Itaim Bibi,
CEP 04534-013 São Paulo, SP, BRAZIL
Tel: 011-3704-1377

ARGENTINA

Yamaha Music Latin America, S.A.
Sucursal de Argentina
Olga Cossettini 1553, Piso 4 Norte
Madero Este-C1107CEK
Buenos Aires, Argentina
Tel: 011-4119-7000

PANAMA AND OTHER LATIN AMERICAN COUNTRIES/ CARIBBEAN COUNTRIES

Yamaha Music Latin America, S.A.
Torre Banco General, Piso 7, Urbanización Marbella,
Calle 47 y Aquilino de la Guardia,
Ciudad de Panamá, Panamá
Tel: +507-269-5311

EUROPE

THE UNITED KINGDOM

Yamaha Music U.K. Ltd.
Sherbourne Drive, Tilbrook, Milton Keynes,
MK7 8BL, England
Tel: 01908-366700

GERMANY

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: 04101-3030

SWITZERLAND/LIECHTENSTEIN

Yamaha Music Europe GmbH
Branch Switzerland in Zürich
Seefeldstrasse 94, 8008 Zürich, Switzerland
Tel: 01-383 3990

AUSTRIA

Yamaha Music Europe GmbH Branch Austria
Schleiergasse 20, A-1100 Wien, Austria
Tel: 01-60203900

CZECH REPUBLIC/SLOVAKIA/ HUNGARY/SLOVENIA

Yamaha Music Europe GmbH Branch Austria
Schleiergasse 20, A-1100 Wien, Austria
Tel: 01-602039025

POLAND

Yamaha Music Europe GmbH
Branch Sp.z o.o. Oddział w Polsce
ul. 17 Stycznia 56, PL-02-146 Warszawa, Poland
Tel: 022-500-2925

THE NETHERLANDS/ BELGIUM/LUXEMBOURG

Yamaha Music Europe Branch Benelux
Clarissenhof 5-b, 4133 AB Vianen, The Netherlands
Tel: 0347-358 040

FRANCE

Yamaha Musique France
BP 70-77312 Marne-la-Vallée Cedex 2, France
Tel: 01-64-61-4000

ITALY

Yamaha Musica Italia S.P.A.
Combo Division
Viale Italia 88, 20020 Lainate (Milano), Italy
Tel: 02-935-771

SPAIN/PORTUGAL

Yamaha Música Ibérica, S.A.
Ctra. de la Coruna km. 17, 200, 28230
Las Rozas (Madrid), Spain
Tel: 91-639-8888

SWEDEN

Yamaha Scandinavia AB
J. A. Wettergrens Gata 1, Box 30053
S-400 43 Göteborg, Sweden
Tel: 031 89 34 00

DENMARK

YS Copenhagen Liaison Office
Generatorvej 6A, DK-2730 Herlev, Denmark
Tel: 44 92 49 00

NORWAY

Norsk filial av Yamaha Scandinavia AB
Grini Næringspark 1, N-1345 Østerås, Norway
Tel: 67 16 77 70

RUSSIA

Yamaha Music (Russia)
Room 37, bld. 7, Kievskaya street, Moscow,
121059, Russia
Tel: 495 626 5005

OTHER EUROPEAN COUNTRIES

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: +49-4101-3030

AFRICA

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2303

MIDDLE EAST

TURKEY/CYPRUS

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: 04101-3030

OTHER COUNTRIES

Yamaha Music Gulf FZE
LOB 16-513, P.O.Box 17328, Jubel Ali,
Dubai, United Arab Emirates
Tel: +971-4-881-5868

ASIA

THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

Yamaha Music & Electronics (China) Co.,Ltd.
2F, Yunhedasha, 1818 Xinzha-lu, Jingan-qu,
Shanghai, China
Tel: 021-6247-2211

INDIA

Yamaha Music India Pvt. Ltd.
5F Ambience Corporate Tower Ambience Mall Complex
Ambience Island, NH-8, Gurgaon-122001, Haryana, India
Tel: 0124-466-5551

INDONESIA

PT. Yamaha Musik Indonesia (Distributor)
PT. Nusantik
Gedung Yamaha Music Center, Jalan Jend. Gatot Subroto Kav. 4, Jakarta 12930, Indonesia
Tel: 021-520-2577

KOREA

Yamaha Music Korea Ltd.
8F, 9F, Donglung Bldg. 158-9 Samsung-Dong,
Kangnam-Gu, Seoul, Korea
Tel: 02-3467-3300

MALAYSIA

Yamaha Music (Malaysia) Sdn., Bhd.
Lot 8, Jalan Perbandaran, 47301 Kelana Jaya,
Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
Tel: 03-78030900

SINGAPORE

Yamaha Music (Asia) Pte., Ltd.
#03-11 A-Z Building
140 Paya Lebar Road, Singapore 409015
Tel: 6747-4374

TAIWAN

Yamaha KHS Music Co., Ltd.
3F, #6, Sec.2, Nan Jing E. Rd. Taipei.
Taiwan 104, R.O.C.
Tel: 02-2511-8688

THAILAND

Siam Music Yamaha Co., Ltd.
4, 6, 15 and 16th floor, Siam Motors Building,
891/1 Rama 1 Road, Wangmai,
Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
Tel: 02-215-2622

OTHER ASIAN COUNTRIES

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2303

OCEANIA

AUSTRALIA

Yamaha Music Australia Pty. Ltd.
Level 1, 99 Queensbridge Street, Southbank,
Victoria 3006, Australia
Tel: 3-9693-5111

COUNTRIES AND TRUST TERRITORIES IN PACIFIC OCEAN

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2303

HEAD OFFICE

Yamaha Corporation, Pro Audio Division
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu, Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2441



Yamaha Pro Audio Global Web Site
<http://www.yamahaproaudio.com/>
Yamaha Manual Library
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

C.S.G., Pro Audio Division
© 2008-2011 Yamaha Corporation

104IPDHx.x-03C0
Printed in Japan

WN16170